

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔 奈良県 〕

1 拠点校及び連携校

区分	学校名	学級数	児童生徒数
拠点校(中学校)	天理市立北中学校	16(5)	337
連携校 (拠点校中学校区内の小 学校)	天理市立丹波市小学校	14(3)	271
	天理市立山の辺小学校	13(4)	198
	天理市立櫛本小学校	18(4)	340

2 意識調査(アンケート共通項目) (%)

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数(人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	300	43.3	36.0	15.3	5.3	54.5	36.1	7.4	2.0	27.7	50.0	18.7	3.7	16.7	53.7	23.0	6.7
		前年②	295	39.3	41.0	11.5	8.1	46.4	39.0	9.2	5.4	18.6	56.9	19.3	5.1	13.3	48.0	26.9	11.9
		本年①	318	41.8	42.1	11.3	4.7	50.3	38.1	7.9	3.8	19.2	54.1	21.1	5.7	12.3	53.0	24.9	9.8
	3	中2①	104	36.5	40.4	17.3	5.8	53.8	37.5	6.7	1.9	27.9	47.1	22.1	2.9	13.5	51.9	28.8	5.8
		中2②	104	42.3	37.5	12.5	7.7	43.3	40.4	13.5	2.9	16.3	55.8	20.2	7.7	10.7	42.7	27.2	19.4
		中3①	102	40.2	38.2	13.7	7.8	49.0	39.2	7.8	3.9	15.7	54.9	22.5	6.9	4.9	43.1	34.3	17.6
	2	中1①	97	41.2	37.1	16.5	5.2	53.1	37.5	6.3	3.1	20.6	52.6	20.6	6.2	20.6	52.6	18.6	8.2
		中1②	100	33.0	42.0	14.0	11.0	43.0	40.0	9.0	8.0	19.0	55.0	22.0	4.0	17.0	46.0	31.0	6.0
		中2①	93	35.5	43.0	16.1	5.4	44.1	37.6	11.8	6.5	21.5	51.6	21.5	5.4	14.0	58.1	21.5	6.5
	1	小6①	150	50.0	37.3	9.3	3.3	60.7	30.7	8.0	0.7	27.3	39.3	30.0	3.3	34.7	50.0	12.7	2.7
		小6②	146	48.6	37.0	8.2	6.2	64.4	28.8	5.5	1.4	21.2	50.7	19.9	8.2	35.6	47.3	10.3	6.8
		中1①	123	48.0	44.7	5.7	1.6	56.1	37.4	4.9	1.6	20.3	55.3	19.5	4.9	17.2	57.4	19.7	5.7
小学校	高学年計	前年①	300	43.0	42.7	10.7	3.7	61.7	30.7	6.7	1.0	26.7	42.7	26.7	4.0	37.8	47.2	12.7	2.3
		前年②	293	46.8	39.2	8.5	5.5	63.8	27.6	6.8	1.7	21.9	50.0	21.9	6.2	37.7	42.5	14.4	5.5
		本年①	302	52.3	35.1	7.3	5.3	65.6	28.8	4.0	1.7	26.5	54.0	14.2	5.3	51.0	36.4	8.3	4.3
	6	小5①	150	36.0	48.0	12.0	4.0	62.7	30.7	5.3	1.3	26.0	46.0	23.3	4.7	40.9	44.3	12.8	2.0
		小5②	147	44.9	41.5	8.8	4.8	63.3	26.5	8.2	2.0	22.6	49.3	24.0	4.1	39.7	37.7	18.5	4.1
		小6①	152	48.7	36.8	9.2	5.3	56.6	36.8	5.3	1.3	23.7	59.9	12.5	3.9	48.7	40.1	7.9	3.3
		小5①	150	56.0	33.3	5.3	5.3	74.7	20.7	2.6	2.0	29.3	48.0	16.0	6.7	53.3	32.7	8.7	5.3

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	318	84.2	10.1	2.2	3.5	78.8	14.2	3.5	3.5	79.7	13.6	3.5	3.2	80.6	14.0	2.2	3.2
	3年	102	90.2	6.9	2.0	1.0	88.2	7.8	2.9	1.0	90.2	6.9	2.0	1.0	90.1	7.9	1.0	1.0
	2年	93	74.2	14.0	3.2	8.6	62.4	24.7	6.5	6.5	67.7	17.2	6.5	8.6	67.7	21.5	3.2	7.5
	1年	123	86.8	9.9	1.7	1.7	83.5	11.6	1.7	3.3	80.2	16.5	2.5	0.8	82.6	13.2	2.5	1.7
小学校	高学年計	302	68.9	18.9	5.6	6.6	65.2	22.8	5.6	6.3	74.8	18.2	4.2	2.8	70.2	22.8	3.3	3.6
	6年	152	68.4	21.1	5.3	5.3	65.8	21.7	4.6	7.9	70.4	19.1	7.2	3.3	67.8	21.7	5.3	5.3
	5年	150	69.3	16.7	6.0	8.0	64.7	24.0	6.7	4.7	79.3	17.3	1.3	2.0	72.7	24.0	1.3	2.0

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

3 課題・目標・取組

課題	学習習慣等の問題により基礎学力定着が不十分であり、自主性・主体性等の弱さから集団への適応力や人間関係づくりに課題がある。
目標	互いを認め合う集団を育成し、児童生徒一人一人が活躍し、自己を表現し、学びへの意欲を培う魅力ある学校づくりを推進する。
取組	互いの特性を認め合う集団づくりを基盤に、一人一人が生き生きと活躍する学校行事や体験活動を推進し、授業の改善と充実を図る。

4 意識調査結果の分析

(1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	・イ「みんなで何かをするのは楽しい」に対する肯定的回答の割合が、小学校で94.4%、中学校で88.4%と高い水準だった。
中学校	・ア「学校が楽しい」に対する肯定的回答の割合が、80.3%から83.9%に増加した。
小学校	・ウ「授業に主体的に取り組んでいる」に対する肯定的回答の割合が、71.9%から80.5%に増加した。 ・エ「授業がよく分かる」に対する肯定的回答の割合が、80.2%から87.4%に増加した。

(2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	特になし
中学校	・ウ「授業に主体的に取り組んでいる」に対する肯定的回答の割合が増加しなかった。 ・エ「授業がよく分かる」に対する否定的回答の割合が、34.7%と高かった。
小学校	特になし

5 取組事項

小・中共通	<p>①【授業改善と授業規律の確立】各校において公開授業を実施し、小・中、小・小が、互いの学校の授業の様子、児童生徒の様子を知る機会を増やすとともに、指導力向上、分かりやすい授業づくりに取り組む。また、小・中9年間を見通した授業規律を確立し、学習意欲と学力の向上を図る。</p> <p>②【体験活動の充実】校区の児童生徒が共通して抱える課題（自主性・主体性等の弱さ）をより明確にし、体験活動を通してその課題を克服するという視点を、小・中で共通理解しつつ、各校で魅力ある行事、学習活動の取組の更なる充実を図る。</p> <p>③【互いを認め合う集団づくり】児童生徒が互いの取組や努力を認め合い、一人一人がつながり合う集団づくりを更に進める。</p>
中学校	①【学校行事、学年行事の充実】生徒一人一人が生き生きと取り組める機会となるよう、行事の在り方を検証・改善する。
小学校	<p>①【学習基盤の確立】家庭との連携の強化、「授業ルール」や「生活がんばり表」の活用、自尊感情を高める活動の工夫等により、学習意欲の向上・学習規律の確立・学習習慣の定着についての指導を進め、学習基盤の確立を図る。（全校）</p> <p>②【児童の主体的な体験活動の推進】地域人材等を活用した体験学習を積極的に実施するとともに、保・幼・中との連携を更に推進し、児童の主体性や意欲を引き出す、楽しく有意義な体験活動を充実させる。（全校）</p> <p>③【家庭・地域等との連携】保護者との信頼関係を築き、適切な支援を行う。また、家庭・地域等との連携強化を図るための地域連携の在り方を探る。（全校）</p>

6 取組内容

(1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	校内推進委員会（全小） 挨拶運動（櫛本小・全学年／毎月15日）	○ ○	第1回連絡協議会 校内推進委員会 第1回小・中連絡協議会（小・中）	○ ○ △
5月	第1回児童意識調査実施（全小） 市教委・県教委学校訪問（全小） 「人権なかよし集会」（丹波市小・全学年） 保・幼・小交流会（山の辺小・1年） 保・幼との「お楽しみ交流会」（櫛本小・1年） 添上高校と連携しての体力測定（櫛本小・全学年）	○ ○ ◇ ○ ○ ◇	事業通信「四つ葉」発行 第1回生徒意識調査実施 市教委・県教委学校訪問 校内推進委員会 第1回調査研究委員会（小・中）	× ○ ○ ○ △
6月	保護者意識調査実施（全小） 「地域の方々に学ぶ」（丹波市小・2年、5年） 「田植え体験」（山の辺小・5年） 「田植え体験」（櫛本小・5年） 「古墳探検」（櫛本小・6年） 高齢者施設福寿荘との交流会「みんなで歌おう会」（櫛本小・全学年）	× ○ ◇ ○ ○ ○	保護者意識調査実施 校内推進委員会 第2回小・中連絡協議会（小・中）	× ○ △
7月	チェックシート作成（全小） 「邦楽ワークショップ」（櫛本小・全学年） 地域をつなぐ「灯火会」（櫛本小・全学年）	○ ◇ ○	事業通信「四つ葉」発行 チェックシート作成 校内推進委員会 第2回調査研究委員会（小・中） 「先輩に聞く」（1年）	○ ○ ○ × △
8月	親子奉仕作業（全小） 「人権なかよし集会」（丹波市小・全学年） 学級の実態交流（山の辺小・全学年） 平和登校日（櫛本小・全学年）	○ ◇ ◇ ◇	校内推進委員会 第3回小・中連絡協議会（小・中） 小・中合同研修会（小・中）	○ △ ○
9月	市教委・県教委学校訪問（全小）		事業通信「四つ葉」発行 市教委・県教委学校訪問 校内推進委員会 第3回調査研究委員会（小・中）	
10月	PTA「てんてんまつり」（丹波市小・全学年） 「稲刈り体験」（櫛本小・5年） 「おもちゃランド」（櫛本小・2年） 「邦楽入門コンサート」（櫛本小・全学年）		校内推進委員会 第4回小・中連絡協議会（小・中） 「地域人材を招いてのキャリア教育行事」（2年）	
11月	第2回児童意識調査実施（全小） 市教委・県教委学校訪問（全小） 保・幼・小交流出前授業（丹波市小・1年）		事業通信「四つ葉」発行 ブロック協議会 第2回生徒意識調査実施 市教委・県教委学校訪問	

	「人権・なかよし集会」(丹波市小・全学年) 授業交流(山の辺小・全学年) 保・幼・小交流会(山の辺小・4年) 「ふれあい体験教室」(山の辺小・全学年) 「山小オープンスクール」(山の辺小・全学年) 人権学習(山の辺小・全学年) 「福寿荘との交流会」(櫛本小・3年)	校内推進委員会 「北中オープンスクール」(全小6年対象)【小・中合同】
12月	チェックシート作成(全小) 「冬の大集会」(櫛本小・全学年)	チェックシート作成 校内推進委員会 第4回調査研究委員会(小・中) 第5回小・中連絡協議会(小・中)
1月	「琴・尺八教室」(櫛本小・6年) 保・幼との「たこあげ交流会」(櫛本小・1年)	校内推進委員会
2月	市教委・県教委学校訪問(全小) 「人権・なかよし集会」(丹波市小・全学年) 「地域の方々に学ぶ」(丹波市小・6年) 「はにわ祭り」(櫛本小・全学年) 「茶道教室」(櫛本小・6年)	事業通信「四つ葉」発行 第2回連絡協議会 市教委・県教委学校訪問 校内推進委員会 第6回小・中連絡協議会(小・中) 校内研究会実施 研究紀要作成 県中学校生徒指導研究会報告
3月	6年生を送る会(全小)	校内推進委員会 第5回調査研究委員会(小・中)

(2) 8月末までに実施した具体的な取組

〔小・中共通〕

①【授業改善と授業規律の確立】

＜学習規律の徹底＞確かな学力の定着を目指して、各校で「学習のきまり」、「授業ルール」を作成した。それらを各教室に掲示し、児童生徒が学習規律を常に意識できるよう、指導を進めている。



①【授業改善と授業規律の確立】

＜小・中連携合同研修会＞拠点校及び連携校の全教職員が一堂に集まり、合同研修会を開催した。全体会では、小・中連携に関する講演を聴き、分科会では、小・中共通の課題について協議を行った。「9年間で子どもを育てる共通の視点」をもって取り組むことの大切さを確認することができた。



②【体験活動の充実】

＜田植え体験＞毎年各小学校では、地域の田んぼにゲストティーチャーを招いて田植え体験・稲刈り体験を行っている。児童からは「田植えは大変な仕事だと思った。」「感謝して食べようと思った。」等の感想が聞かれ、児童にとって貴重な体験となっている。



③【互いを認め合う集団づくり】

拠点校及び連携校では、児童生徒が互いの頑張りや違いを認め合う集団づくりを目指して、「なかよし集会」や「なかま集会」を行っている。各校で、縦割りグループでの話し合いや作業を取り入れるなどの工夫を凝らしている。



〔中学校〕

①【学校行事、学年行事の充実】

学校行事、学年行事の中で、生徒がなかまと支え合い協力し合うことを通して自主性や主体性を引き出せる場を提供できるよう工夫している。

修学旅行における「平和宣言」の取組では、生徒一人一人が、宣言に込める思いを自分の言葉で表現した。そして、それぞれがその思いを出し合いながら、一つの宣言にまとめ上げる活動に取り組んだ。



〔小学校〕

①【学習基盤の確立】

授業では学習規律を徹底するとともに、学習形態を工夫し、児童一人一人が、授業の中で互いの素晴らしさや頑張りや認め合えるよう努めている。

また、基本的な生活習慣や家庭での学習習慣を身に付けさせるために、学級だより等を積極的に発行し、家庭との連携を図っている。（山の辺小）



②【児童の主体的な体験活動の推進】

地域の「野菜作り名人」をゲストティーチャーに招き、野菜の苗の植え方を教わり、夏野菜の畑づくりを体験した。児童は、ナスやキュウリやトウモロコシなどの大きな実ができることを楽しみに、日々水やりを続けている。（丹波市小）



②【児童の主体的な体験活動の推進】

各校で児童会活動の活性化を図り、児童の自主性・主体性の向上に取り組んでいる。その中では、児童の発想を大切に、児童が主体的に活動できるよう努めている。

各校児童会では、朝の挨拶運動等の自主的活動が行われている。（全校）



②【児童の主体的な体験活動の推進】

＜ニッポンバラタナゴの保護活動＞絶滅危惧種ニッポンバラタナゴの保護活動を、近畿大学農学部と連携して行っている。

ニッポンバラタナゴの生育しやすい環境作り、ドブ貝、ヨシノボリとの共生関係、タイリクバラタナゴの脅威等について学習し、積極的に保護活動に取り組んでいる。(櫛本小・6年)



③【家庭・地域等との連携】

＜地域をつなぐ「灯火会」＞学校と家庭・地域が一体となって取り組む夏の祭典「はにわ灯火会」。今年も運動場が幻想的なろうそくの灯りに照らされ、多くの人々の心を魅了し、つながりを深めてくれた。(櫛本小)



7 8月末までの取組状況と課題(第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む)

(1) 順調に進んでいる事項

小・中共通	<p>①【授業改善と授業規律の確立】「学習のきまり」、「授業ルール」の作成、活用や、小・中合同研修会の実施等により、教員の意識が高まり、各校内、各校間の共通理解が深まった。</p> <p>②【体験活動の充実】それぞれの実施計画に基づいて、児童生徒にとって魅力ある行事・体験活動に取り組むことができている。</p> <p>③【互いを認め合う集団づくり】学校行事や人権教育を核として、児童生徒が互いの素晴らしさを認め合い、相互の絆を深める取組を行うことができている。</p>
中学校	<p>①【学校行事、学年行事の充実】生徒一人一人が生き生きと活動できる機会を多くもつことができている。</p>
小学校	<p>①【学習基盤の確立】学校全体やグループでの授業研究・研究協議を重ねるなど、児童にとって分かりやすい授業づくりに努めている。(丹波市小、櫛本小)</p> <p>②【児童の主体的な体験活動の推進】「カレーパーティー」や「プールで遊ぼう」等の行事では、児童相互の交流を図りながら、体験活動に対する児童の意欲を高めることができた。(丹波市小)</p> <p>①【学習基盤の確立】発表の仕方、話を聞く態度等、学習規律が定着しつつある。また、学級だより等を積極的に発行し、家庭との連携を図っている。(山の辺小)</p> <p>③【家庭・地域等との連携】挨拶運動や「灯火会」等、家庭・地域との連携と児童にとって魅力ある体験活動の推進に努めることができた。(櫛本小)</p>

(2) 課題となっている事項

小・中共通	<p>②【体験活動の充実】児童生徒の自主性・主体性等の課題をより明確にし、体験活動を通して克服する機会を更に設ける必要がある。</p>
中学校	<p>①【授業改善と授業規律の確立】分かりやすい授業づくりを更に追究する。</p>
小学校	<p>①【学習基盤の確立】教員の同僚性をより高め、「学び合い」の授業づくりを更に推進する。(丹波市小)</p> <p>①【学習基盤の確立】全ての児童が意欲的に学び、自己を高められるよう、更なる授業改善を図る必要がある。(山の辺小)</p> <p>①【学習基盤の確立】児童の学習基盤をより確かなものにするために、個に応じた指導を充実させるとともに、授業ルールの徹底を図る。(櫛本小)</p>

8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	<p>①【授業改善と授業規律の確立】小・中9年間を見通した授業規律の確立と更なる授業改善を図るために、研究授業の学校間での公開を行う。</p> <p>②【体験活動の充実】児童生徒の自主性・主体性を培う体験活動の更なる充実を図る。</p>
中学校	<p>①【学校行事、学年行事の充実】生徒一人一人が生き生きと活動に取り組むことができる機会をより多く創出する。</p>
小学校	<p>①【学習基盤の確立】授業研究・研究討議を充実させ、教員間の連携を高めるとともに、「学び合い」の授業づくりを推進する。(丹波市小)</p> <p>①【学習基盤の確立】児童の学習意欲を高め、基礎・基本の定着を図るために、研究授業を積極的に実施し、指導力の向上に努める。(山の辺小)</p> <p>①【学習基盤の確立】児童の伝えあう力を高めるための研究授業を積極的に実施するとともに、児童にとって分かりやすい授業づくりに努める。(櫛本小)</p>

9 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・ 県教育委員会及び拠点校、連携校との連絡・調整を密にし、円滑な事業推進を図る。特に、教職員全体の意識を高めながら本事業に関する共通理解を図り、学校全体、校区全体で本事業を推進できるように適切な助言を行う。
- ・ 拠点校、連携校を計画的に訪問し、事業の進捗状況を確認するとともに、小・中連携、小・小連携の具体的な取組について指導助言し、教職員の意識改革を視野に入れながら、事業内容の推進、充実を図る。

〔成果と課題〕

- 県教育委員会及び拠点校、連携校と連絡・調整を図り、円滑に事業を推進することができた。
- 『事業通信』の発行により、児童生徒が主体的に取り組もうとする意欲の向上を図り、同時に拠点校及び連携校教職員の共通理解を図る」という『事業通信』の役割について助言し、その充実を図ることができた。
- 拠点校と連携校のより緊密な連携を目的とした「小中合同研修会」では、拠点校及び連携校教職員全体の本事業に関する共通理解を深め、本事業を積極的に推進しようとする意欲を高めることができた。
- 拠点校及び連携校の個々の取組について、指導助言を十分に行えなかった。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・ 国立教育政策研究所及び市教育委員会、拠点校、連携校との連携を密にし、円滑な事業推進を図る。また、市教育委員会と連携して、拠点校及び連携校の教職員の本事業に対する意識高揚に関する方策を講じる。
- ・ 拠点校及び連携校に積極的に訪問し、事業の進捗状況を確認するとともに、市教育委員会及び拠点校、連携校に対して、他都道府県、他市町村の取組や先進的な事例に関する情報を積極的に提供し、事業の充実に向けて指導助言を行う。
- ・ 他市町村の教育委員会や学校等に対し、本事業の取組を積極的に紹介し、小・小連携、小・中連携の推進を図る。

〔成果と課題〕

- 国立教育政策研究所及び市教育委員会、拠点校、連携校と緊密に連携し、円滑な事業推進に寄与することができた。
- 他の本事業指定地域と交流・情報交換を行い、事業の充実を図ることができた。
- 拠点校及び連携校への他都道府県、他市町村の取組や事例に関する情報提供と、他市町村の教育委員会、学校等に対する本事業の紹介については十分に行えておらず、年度後半の課題である。

10 関連URL

「天理市立北中学校区『四つ葉プロジェクト』」

<http://ed.city.tenri.nara.jp/ichinomoto-el/index.cfm/1,0,38,html>

【問い合わせ先】

所属	奈良県教育委員会 生徒指導支援室		電話	0744-32-9505	
職名	指導主事	氏名	高木 一矢	よみがな	たかぎ かずや